

BIM/CIM業務の実施とICT活用工事の連携

◆NEXCO東日本では、調査設計業務の品質確保とi-Constructionの推進を図るため、下記の取組を実施。

◆今後『**BIM/CIMによる詳細設計**』を実施することで、設計段階から3次元地形による3次元モデルの作成を実施。

◆3次元モデルの設計成果を『**ICT活用工事**』に利用。

➢この取組により、以下のような効果を期待。

- ① 3次元モデルに必要な地形情報を設計者自らが作成することにより、現状をよく把握した上で設計できるため、施工時の手戻りが削減できる（フロントローディング）
- ② ICT施工に必要な3次元データの作成が容易となる

◆BIM/CIM適用対象業務：

- 道路詳細設計
- 連絡等施設詳細設計（休憩施設及びスマートインター等設計）

◆ICT活用工事：

- BIM/CIM適用業務の成果による発注工事

調査・設計業務の

i-Constructionの取組

-BIM/CIMの効果的な活用に向けて-

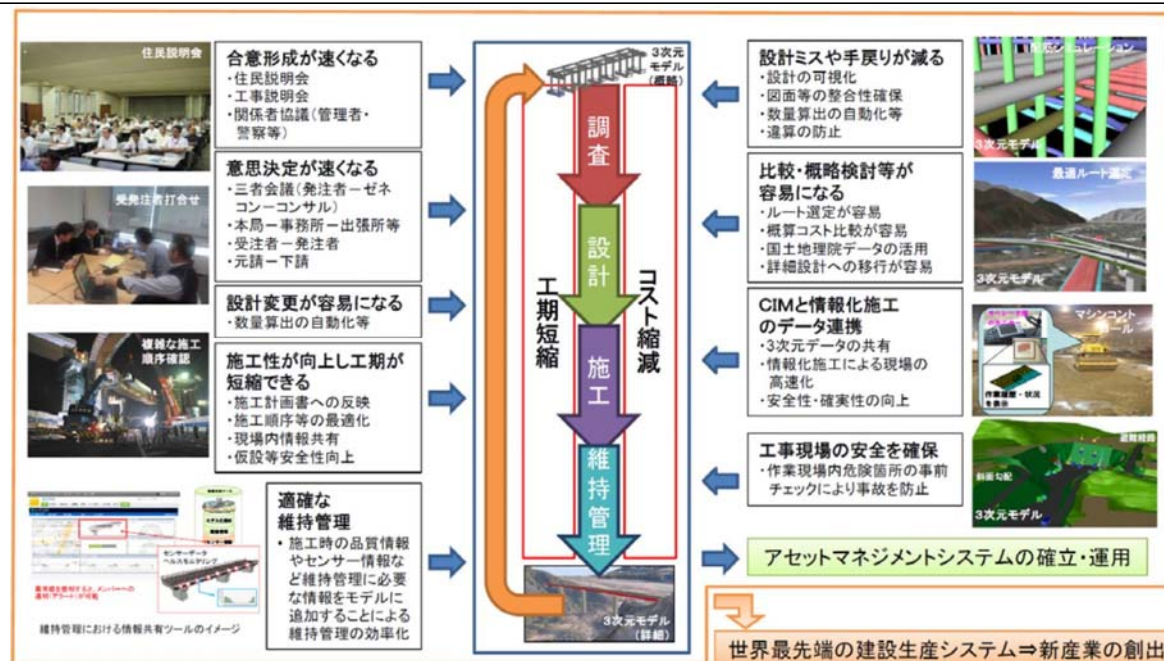
平成30年8月

あなたに、ベスト・ウェイ。



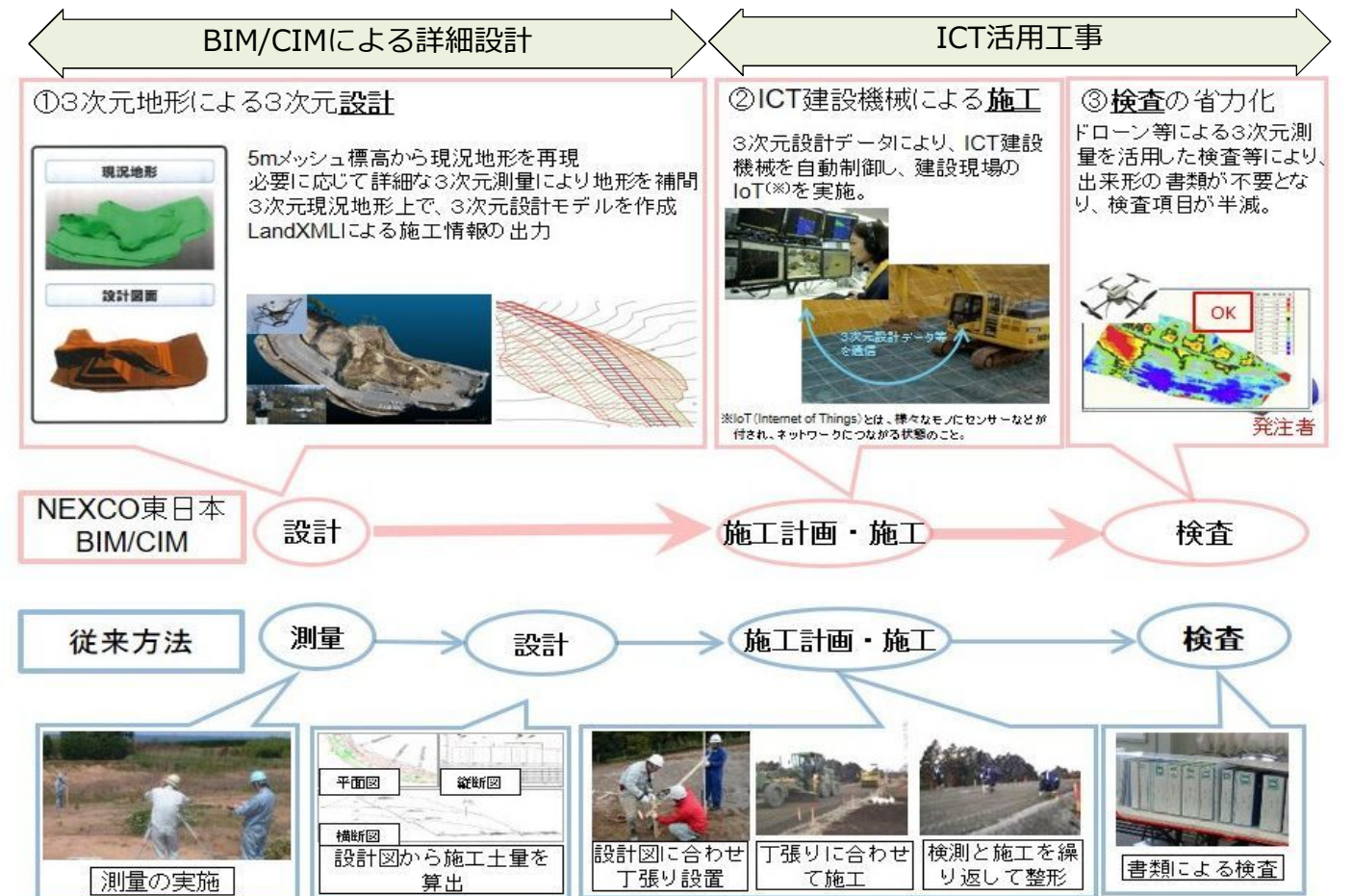
BIM/CIMの導入の効果

◆BIM/CIMの導入により、「設計の可視化・最適化」、「情報の共有・施工との連携・活用」が可能となり、品質向上と業務効率化が期待されている。



出典：国土交通省 第7回CIM制度検討会

※BIM/CIMは、計画、調査、設計段階から3次元モデルを導入し、その後の施工、維持管理の各段階においても3次元モデルに連携・発展させ、併せて事業全体にわたる関係者間で情報を共有することにより、一連の建設生産システムの効率化・高度化を図ることを目的とした取り組み。



【調査・設計業務の品質確保・向上説明会2018】BIM/CIMの取組